

4 環境活動・学習推進事業

(1) 森・緑の育成活動事業

- 【実施団体】かすがい里山自然楽校
【事業名】市民憩いの森づくりプロジェクト
【実施年度】平成26～29年度
【実施場所】春日井市大泉寺町



- 雑木林の環境整備や希少動植物の調査、生息地保全、歩道整備、維持管理を行っています。また、生物多様性を伝える広報、普及活動や子供会などを活用した自然観察会、体験イベントを実施しています。

(2) 水と緑の恵み体感事業

- 【実施団体】矢田・庄内川をきれいにする会
【事業名】水源の森の恵みを活用し、生物多様性を実現しよう
【実施年度】平成21～29年度
【実施場所】名古屋市千種区・守山区、尾張旭市



- 水源からもたらされる水が下流域において十分に活用されているか検証するため、矢田川において魚道の遡上能力を上下流で魚を捕って調べる、川の生物に触れながら、捕り方や名前を知る、水量・水質などの棲息条件が水源の森の恵みと人間の生活によることを知る、といった活動を実施しています。

(3) 森林文化の体験・学習事業

【実施団体】 特定非営利活動法人地球温暖化対策地域協議会エコネットあんじょう

【事業名】 奥三河の森林保全と間伐ボランティア活動

【実施年度】 平成 24～29 年度

【実施場所】 新城市作手



- 荒れた山を「水源の森」とするため、市民ボランティアで「エコネットチェーンソー」を結成し、訪れる機会の少ない奥山での間伐作業を行っています。また、針葉樹を広葉樹を含む混交林に変換し、生物多様性豊かな森に変え、その重要性について啓発活動を行っています。

(4) 森林生態系保全の学習事業

【実施団体】 金城学院大学

【事業名】 東部丘陵地域の里山学習プロジェクト

【実施年度】 平成 23～29 年度

【実施場所】 名古屋市守山区



- 丘陵地に残る大学内の里山を活用し、地域住民に生物多様性への理解を深めていただけるよう、竹の炭焼き体験講座、わら縄編み体験、リースづくりを開催しています。自然林に入って里山の営みを体験したり、恵みを体感するなど、里山が身近で豊かな自然であることを知っていただけるよう、学生と教職員が一緒になって講座を企画しています。

(5) 太陽・自然の恵み学習事業

【実施団体】刈谷市

【事業名】かりやグリーンカーテン事業

【実施年度】平成25年度～29年度

【実施場所】刈谷市



- 市域全体で地球温暖化防止、省エネの取組を推進するため、家庭・事業所を対象としたグリーンカーテンコンテストを実施し、参加者には種やネット、作成マニュアルを配布しています。また、幼稚園・保育園・小学校などにグリーンカーテンを設置し、環境教育に活用しています。

(6) 生物多様性に関連した独自提案による環境活動・学習事業

【実施団体】一般社団法人名工家

【事業名】教室の空気はビタミン材運動

【実施年度】平成24年度～平成29年度

【実施場所】名古屋市



- 教室や共用部分に設置する間伐材の掲示板を児童と一緒に作製しています。また、木材を使っている大工さんから森や木の話を知るとともに、県産間伐材を使ってのこぎりやカンナ体験を行うなど、森林についての環境授業を実施しています。

(6) 生物多様性に関連した独自提案による環境活動・学習事業

【実施団体】井ヶ谷町内会

【事業名】ため池の生物多様性の調査及び水質浄化の検証

【実施年度】平成26年度～29年度

【実施場所】刈谷市井ヶ谷町



- ため池において、健全な生態系の保全や水質浄化を図るため、地元住民や学生などの協働により、池の水を抜いて魚を捕る「池もみ」を実施し、外来魚の捕獲や水質調査を行いました。地区住民、大学、行政の連携のもと、生物多様性の損失を止めるための具体的な行動の実践を通じて、地域全体の環境活動の機運を高めることができました。

(7) 生態系ネットワーク形成事業

【実施団体】西三河生態系ネットワーク協議会

【事業名】苗木循環育成モデル化事業

【実施年度】平成26年度～平成29年度

【実施場所】幸田町、岡崎市他



- 西三河地域の生物多様性向上、生態系ネットワーク形成を目指して、企業、消費者団体、学校などが協力して、地域在来種（コナラ・アベマキ等）の育苗、植樹に取り組んでいます。植樹会・自然観察会や学校・家庭での地域性苗木の育成（1年間）を通じて、生物多様性保全に対する理解が高まり、コラボレーションが深化しています。

5 木の香る学校づくり推進事業



林業普及指導員による講座の様子



生徒自ら「あいち認証材」のラベル貼り

- 美浜町は、町内全8小中学校からの要望をもとに、「あいち認証材」を用いた机、椅子、ロッカー、教卓の導入を進めています。
- 児童・生徒が毎日、愛知県産の木材に触れることにより、木の良さや森林整備の大切さについて理解してもらえる環境を整えています。
- さらに理解を深めてもらうため、林業普及指導員が「あいち森林なるほど講座」を実施し、県産材の利用について講義を行いました。また導入された机・椅子に、児童たち自らで「あいち認証材」のラベルを貼った事例もあります。
学校における身近な製品の利用から、県産木材の普及啓発に努めています。



木製遊具で遊ぶ児童たち



林業普及指導員による訪問授業の様子

- 豊橋市では、市内の全小学校に、「あいち認証材」を用いた机、椅子を導入しており、下駄箱や教壇、遊具の整備も順次行っています。
- 日々、愛知県産の木材に触れることが出来る環境を整えて、木材の温かみを感じてもらい、あわせて身近にある森林の大切さについても考えるきっかけとなっています。
- 10月8日の木の日に合わせて、林業普及指導員と市内の木材商工協同組合とがタッグを組み、市立吉田方小学校において、訪問授業を実施しました。身近にある県産木材を利用することで、森林の公益的機能に貢献していることを理解してもらえたと思います。

6 愛知県産木材利活用推進事業



森林内での集材の様子



「木の駅」の土場に集まった間伐材

- 新城市内で実施されている「木の駅プロジェクト」は、森林所有者や有志のグループなどが山で未利用となっている間伐材等を「木の駅」に集めてチップ業者に販売することで、1トンあたり6,000円分の地域通貨を発行し、間伐材の有効利用と地域振興の一石二鳥をめざす取組です。6,000円/トンの内、木材販売収入は3,000円/トンで、残りの3,000円/トン分について、新城市が助成しており、その一部を本事業により支援しました。
- 木の駅の参加者からは、「間伐で切り捨てて置くしかなかった木が活用できてよかった。」「自分の山に久しぶりに行った。」「地元の商店を利用する機会が増えた。」などの声が聞かれました。また、木の駅プロジェクトの事務局の方は、「この様な助成があることで、大変に助かっている。」とのことでした。
- 木の駅プロジェクトの活動を通して、地域内の未利用森林資源が有効活用されるだけでなく、山主や地域住民が、地域の森林に対してより関心を持ってもらうことができ、また、地域の振興にも繋がられています。



祖父江の森温水プール（稲沢市）



尾張旭市立図書館（尾張旭市）

- 子どもからお年寄りまで幅広く利用されている祖父江の森温水プールの2階観覧スペースのベンチをプラスチック製から木製にしました。
- 木製のベンチに替わったことで、観覧スペースの雰囲気明るくなったと評判になっています。肌触り、座り心地がよく、温かみのあるベンチに腰掛けて、プールを楽しむ様子をゆったり観覧することができます。
- 尾張旭市立図書館内の閲覧室や正面玄関横などに木製ベンチを設置しました。木製ベンチから発せられる爽やかなヒノキの香りでリラックスできると、多くの利用者から好評です。
- 利用者の皆様には、ゆったりと落ち着いた雰囲気の中で読書を楽しんでいただけるようになり、くつろぎやすい休息の場として、木製ベンチをご利用いただいています。

